



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 サイボ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,933	△6.4	793	△16.5	867	△17.6	389	△33.1
25年3月期第3四半期	6,337	△9.9	950	△16.8	1,052	△3.2	582	61.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 496百万円 (△28.4%) 25年3月期第3四半期 694百万円 (35.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	29.19	29.13
25年3月期第3四半期	43.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,372	14,521	50.8
25年3月期	25,498	14,257	49.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 12,901百万円 25年3月期 12,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,994	△5.7	1,029	△20.0	1,054	△19.7	615	24.5	46.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,000,000 株	25年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	655,204 株	25年3月期	648,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	13,350,924 株	25年3月期3Q	13,351,760 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年4月に日銀による「異次元緩和」や、新政権による積極的な「経済の成長戦略」等が発表され、円安による輸出企業の業績回復や株式市況の上昇など景気への明るい兆しが見え始めました。そのような中で失業率や設備投資、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおける事業環境は、急激な円安による仕入れコストの増加や法人需要の回復の遅れから引き続き厳しい状況で推移いたしました。

① 繊維事業

原糸販売は、自動車関連やカーテン等産業資材用生地生産基地である北陸地区の市況回復がみられ、レーヨンフィラメント糸の販売は増加傾向にあるものの、昨年の第3四半期連結会計期間から始まった大幅な円安により、主力の輸入ポリエステル糸が価格競争にさらされるなど、アクリル・スフ糸等の紡績糸を含め販売は低迷し僅かな減収となりました。

アパレル関係は、景気の先行きの明るさなどから、法人ユニフォームの直需先の開拓が進み、百貨店売上が少しずつ回復傾向にあり、スポーツ関連商品や販促用ノベルティ商品がバランス良く堅調に推移して大幅な増収となりました。

カジュアル縫製品関係は、百貨店で「ユミカツラ」や「ミュゼ ジョワイユ」の自社ブランドメンズカジュアル品の販売が引き続き拡大したものの、量販店向けの企画商品販売や他社ブランドのOEM受注が縮小した結果、全体では大幅な減収となりました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、刺繍レースファッションの活発化による刺繍使い商品の競争が厳しく僅かな増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は27億88百万円(前年同期比2.0%増)となり、営業損失は36百万円増加して46百万円となりました。

② 商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と専門店が評価されるなど、高い集客力を維持しております。また「イオンモール川口」は、近隣住民の方が固定客として定着しており安定した状況であります。賃料収入面においては、一部の小口商業施設が契約期間満了を迎えて僅かに減収となりましたが、商業施設賃貸事業は引き続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は16億95百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は9億18百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、引き続きゴルフ子供教室の人気に見られるように若年層の入場者は増加傾向が続いたものの、近隣同業者のリニューアルオープンもあって、全体の入場者、売上高ともに前年に比べて減少となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は6億94百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は49百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、平成25年3月25日付で新たな入校生の募集を打ち切ったことから、大幅な減収となりました。なお、平成25年10月31日をもって閉校いたしました。

自動車板金塗装修理事業は、平成25年4月1日付でネットヨタ東埼玉(株)の100%子会社(株)NTワークスに事業移管いたしました。

当社のギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に儉約や節約意識が続き施行規模の小口化や家族葬が増えたものの、施行数を増加させて増収となりました。ディアグリーン課の緑化事業は、主力の観葉植物のレンタル契約を増やして僅かな増収となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般先の工事が減少したことから減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は7億54百万円(前年同期比35.5%減)となり、営業損益は2億11百万円減少して1億22百万円の損失となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、59億33百万円(前年同期比6.4%減)、経常利益は8億67百万円(前年同期比17.6%減)となりました。四半期純利益につきましては、環境対策費1億22百万円及び埼玉興業(株)の自動車教習所事業の事業撤退損1億5百万円等を計上して3億89百万円(前年同期比33.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、有価証券及びたな卸資産が増加したものの、有形固定資産の減価償却が進んだこと等により前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少して253億72百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加があったものの、長期借入金、長期預り保証金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少して108億50百万円となりました。純資産は配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ2億63百万円増加して145億21百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少して28億91百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ4億46百万円増加して5億94百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が減少したものの、法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ7億7百万円増加して2億46百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出が減少した一方、有価証券及び投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間に比べ28百万円増加して4億19百万円となりました。これは主に子会社の自己株式の取得による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月17日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,279,850	3,260,148
受取手形及び売掛金	984,416	820,752
有価証券	310,881	1,033,418
商品及び製品	591,657	758,361
仕掛品	14,755	25,279
原材料及び貯蔵品	44,240	47,760
その他	268,330	254,353
流動資産合計	5,494,133	6,200,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,065,776	9,599,875
土地	5,294,270	5,302,520
その他(純額)	101,400	238,407
有形固定資産合計	15,461,447	15,140,802
無形固定資産		
	37,563	23,611
投資その他の資産		
投資有価証券	4,248,541	3,749,448
その他	284,754	284,041
貸倒引当金	△27,486	△25,586
投資その他の資産合計	4,505,808	4,007,902
固定資産合計	20,004,819	19,172,317
資産合計	25,498,952	25,372,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,687	599,236
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	12,903	191,689
賞与引当金	75,111	22,135
役員賞与引当金	5,850	4,387
その他	897,611	1,083,429
流動負債合計	1,667,164	2,110,878
固定負債		
長期借入金	805,000	647,500
退職給付引当金	187,783	100,360
役員退職慰労引当金	176,226	187,553
長期預り保証金	7,975,056	7,424,620
その他	430,015	379,818
固定負債合計	9,574,081	8,739,851
負債合計	11,241,245	10,850,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,388,889	10,596,707
自己株式	△359,818	△364,643
株主資本合計	12,292,466	12,495,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,051	425,043
繰延ヘッジ損益	△25,671	△18,643
その他の包括利益累計額合計	231,379	406,399
新株予約権	26,332	27,428
少数株主持分	1,707,528	1,592,374
純資産合計	14,257,707	14,521,661
負債純資産合計	25,498,952	25,372,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,337,241	5,933,334
売上原価	4,261,526	4,005,836
売上総利益	2,075,714	1,927,498
販売費及び一般管理費	1,125,417	1,133,977
営業利益	950,296	793,520
営業外収益		
受取利息	18,661	20,607
受取配当金	44,613	53,598
持分法による投資利益	26,712	15,370
有価証券運用益	63,381	5,463
その他	34,787	55,150
営業外収益合計	188,155	150,191
営業外費用		
支払利息	72,323	62,098
その他	13,985	14,130
営業外費用合計	86,308	76,229
経常利益	1,052,144	867,482
特別利益		
固定資産売却益	15,255	—
投資有価証券売却益	5,585	—
事業用資産等譲渡益	—	39,151
負ののれん発生益	—	26,741
特別利益合計	20,840	65,893
特別損失		
固定資産除却損	—	29,461
減損損失	—	90,415
環境対策費	—	122,000
投資有価証券売却損	51,550	—
事業撤退損	—	105,928
特別損失合計	51,550	347,804
税金等調整前四半期純利益	1,021,434	585,571
法人税、住民税及び事業税	184,981	323,778
法人税等調整額	195,497	△55,687
法人税等合計	380,478	268,091
少数株主損益調整前四半期純利益	640,955	317,480
少数株主利益又は少数株主損失(△)	58,317	△72,188
四半期純利益	582,638	389,668

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	640,955	317,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,102	148,916
繰延ヘッジ損益	4,626	7,027
持分法適用会社に対する持分相当額	6,473	23,317
その他の包括利益合計	53,202	179,261
四半期包括利益	694,158	496,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636,751	564,687
少数株主に係る四半期包括利益	57,406	△67,945

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,021,434	585,571
減価償却費	549,973	480,217
減損損失	—	90,415
負ののれん発生益	—	△26,741
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△450	△1,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,244	△52,975
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,812	△1,462
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,171	△87,423
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,568	11,327
受取利息及び受取配当金	△63,275	△74,206
支払利息	72,323	62,098
持分法による投資損益(△は益)	△26,712	△15,370
有価証券運用損益(△は益)	△63,381	△5,463
投資有価証券売却損益(△は益)	45,964	△1,830
売上債権の増減額(△は増加)	87,403	163,664
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131,046	△181,267
仕入債務の増減額(△は減少)	44,507	133,549
預り保証金の増減額(△は減少)	△454,974	△550,435
その他	57,464	188,377
小計	1,083,779	716,143
利息及び配当金の受取額	71,602	82,884
利息の支払額	△71,806	△61,581
法人税等の支払額	△935,748	△143,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,826	594,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△30,000	△130,000
有価証券の売却による収入	720,000	208,100
有形固定資産の取得による支出	△103,916	△219,015
有形固定資産の売却による収入	24,200	11,775
投資有価証券の取得による支出	△1,090,890	△490,120
投資有価証券の売却による収入	918,930	349,799
定期預金の増減額(△は増加)	23,372	45,386
貸付けによる支出	△17,000	△34,529
貸付金の回収による収入	15,000	12,140
その他	1,256	△273
投資活動によるキャッシュ・フロー	460,953	△246,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	950,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△950,000	△700,000
長期借入金の返済による支出	△157,500	△157,500
配当金の支払額	△181,850	△181,850
少数株主への配当金の支払額	△3,092	△3,092
子会社の自己株式の取得による支出	—	△22,200
その他	△48,747	△54,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391,189	△419,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217,590	△71,956
現金及び現金同等物の期首残高	2,802,531	2,963,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,020,122	2,891,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,734,613	1,718,175	715,185	5,167,975	1,169,265	6,337,241	—	6,337,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	192,873	—	199,173	156,032	355,206	△355,206	—
計	2,740,913	1,911,049	715,185	5,367,148	1,325,298	6,692,447	△355,206	6,337,241
セグメント利益 又は損失(△)	△9,498	805,718	75,013	871,234	89,198	960,433	△10,136	950,296

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,788,509	1,695,287	694,987	5,178,785	754,549	5,933,334	—	5,933,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,300	192,873	—	199,173	111,312	310,485	△310,485	—
計	2,794,809	1,888,161	694,987	5,377,958	865,861	6,243,819	△310,485	5,933,334
セグメント利益 又は損失(△)	△46,344	918,421	49,303	921,380	△122,531	798,848	△5,328	793,520

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「商業施設賃貸事業」及び「その他」セグメントにおいて、収益性の低下及び今後の使用見込みが無くなったことにより、当第3四半期連結累計期間において、それぞれ、51,574千円、38,841千円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

連結子会社である埼玉興業(株)が自己株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益26,741千円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。